

「回収ボックスはゴミ箱ではありません」

朝霞市 五年 須藤 絵美（すとう えみ）

「リサイクル・プラザJBでは、何をリサイクルしているのかな？」興味本位で参加した私。見学に行くまで、リサイクル・プラザJBが私達と関わっているとは知らなかった。

「リサイクル・プラザJBとは、ジャパンビバレッジという自動販売機のサービスをする会社を作ったものです。資源を有効に使うために、カンやビン、ペットボトルのリサイクル処理を独自で行っています。」

『えっ、ジュースを売ってくれて、リサイクルもしてくれているの？すごくいい&びっくり！』私の第一印象はこの二つ：ではなくて、もう一つ。『何でわざわざリサイクルまでしてくれるの？』

工場内見学の後も、リサイクルされるまでの流れを丁寧に、また熱く語ってくれた。その中でも私に心に残った言葉・みんなへ伝えたい言葉があった。まず一つ目の言葉は、『どの容器も無駄にしない。』例えば、ペットボトルはタオルやお皿などに生まれ変わることが分かった。カンは、レットという小さなつぶにして他の工場に運ばれ、自動車の部品などに生まれ変わることを知った。

二つ目の言葉は、『人の手では作れない資源。できる限りリサイクル』資源が大切で、とても貴重だということを感じる言葉だった。お金で買えない資源。自然だけが作れる資源そして人の手では作れない資源、これからでもできる限りリサイクルしたいと思った。

三つ目の言葉は、『安心も環境もNO1』ともかく、この言葉がかっこいいなと思った。安心NO1はもちろん、環境NO1を目指すのは素晴らしいと思っただ。ジャパンビバレッジや自動販売機会社はもちろ

ん、どの会社でも、環境NO1を目指していったら、日本がより豊かになっていくと思う。

そして一番心に残った言葉は、『自動販売機の横の箱は、ゴミ箱ではありません。大切な資源を入れる回収ボックスです。』資源を有効に使うために、リサイクルを一生懸命頑張るジャパンビバレッジの方々。そんな姿を知らずに、リサイクル出来ない電池や他のゴミを捨ててゆく人々。この状況を知らない人達は数多いと思う。そう、私もそのことを全く知らない一人だった。ゴミ箱だと思って、ティッシュやお菓子の紙：これまで色々なりサイクルできないものを捨ててきたと思う。でも、大切な資源を入れる回収ボックスだと意識したことを知った私は、使った容器を決められたボックスに戻そう。これまでしてしまったことを考えると悲しくなるが、これから分別を守ることで本当のリサイクルができるのではないかと思った。

限りある資源を守るために、どの容器も無駄にしない生活。私にできる小さなリサイクル||正しい分別を實行しようと思う。